

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年9月11日
【四半期会計期間】	第46期第2四半期（自平成25年5月1日至平成25年7月31日）
【会社名】	ミライアル株式会社
【英訳名】	Mirai al Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山脇 秀夫
【本店の所在の場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	常務取締役 市居 治
【最寄りの連絡場所】	東京都豊島区東池袋一丁目24番1号
【電話番号】	03-3986-3782
【事務連絡者氏名】	常務取締役 市居 治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第2四半期連結 累計期間	第46期 第2四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成24年 2月1日 至平成24年 7月31日	自平成25年 2月1日 至平成25年 7月31日	自平成24年 2月1日 至平成25年 1月31日
売上高(千円)	6,288,846	4,110,536	11,613,507
経常利益(千円)	1,354,504	447,850	2,275,942
四半期(当期)純利益(千円)	869,528	301,837	1,430,496
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	876,625	303,093	1,436,336
純資産額(千円)	16,871,383	17,025,855	17,127,523
総資産額(千円)	20,986,445	19,887,686	20,547,198
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	85.92	29.82	141.36
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	80.4	85.6	83.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	791,417	161,895	1,624,542
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	48,487	1,490,396	859,184
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	365,126	467,519	730,253
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	5,694,228	6,538,336	5,353,344

回次	第45期 第2四半期連結 会計期間	第46期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 5月1日 至平成24年 7月31日	自平成25年 5月1日 至平成25年 7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	53.91	18.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移等については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策への期待感から円高の是正や株価の上昇が進み、景況感などに改善の動きが見られました。しかしながら、新興国の成長鈍化、欧州債務問題の長期化などの懸念材料もあり、実体経済の先行きには不透明感が残っております。

このような経営環境の中、当社グループでは、プラスチック成形事業における主要販売先である半導体業界が全体として緩やかに回復はしたものの、当初想定に対しては低調に推移していること、デバイスメーカーによる需要の濃淡が必ずしも当社製品の需要に結び付かなかったこと等の影響を受け、前年同期比で大幅な減収減益となりました。成形機事業は、昨年後半および今期前半の受注減の影響により減収減益となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,110百万円（前年同期比34.6%減）、営業利益は368百万円（前年同期比72.2%減）、経常利益は447百万円（前年同期比66.9%減）、四半期純利益は301百万円（前年同期比65.3%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (プラスチック成形事業)

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」については、前年度後半からの在庫調整局面から回復の兆しは見てきたものの減収となりました。利益面では、コスト削減を図りましたが、稼働率の低下、新製品である450mm関連製品における減価償却費等の負担増があり減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,639百万円（前年同期比33.0%減）、営業利益は668百万円（前年同期比59.2%減）となりました。

#### (成形機事業)

当事業の主力製品である成形機は、前四半期後半より受注回復傾向は見られたものの、昨年後半からの受注減の影響から減収となりました。利益面では、コスト削減と利益確保できる機種への選択と集中を進めてきましたが、受注の落ち込みにより減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は471百万円（前年同期比45.2%減）、営業利益は16百万円（前年同期比82.6%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて587百万円減少し、13,668百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加203百万円があったものの、現金及び預金の減少615百万円、受取手形及び売掛金の減少170百万円があったこと等によるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて72百万円減少し、6,219百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少36百万円、投資その他の資産の減少24百万円があったこと等によるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて469百万円減少し、2,058百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少123百万円、未払法人税等の減少277百万円があったこと等によるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少し、802百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少29百万円、退職給付引当金の減少28百万円、役員退職慰労未払金の減少13百万円があったこと等によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて101百万円減少し、17,025百万円となりました。これは主に、四半期純利益301百万円の計上、配当金の支払404百万円による減少があったこと等によるものであります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,184百万円増加し、6,538百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、161百万円(前年同期は得られた資金791百万円)となりました。法人税等の支払額420百万円、たな卸資産の増加額203百万円等があったものの、税金等調整前四半期純利益451百万円、減価償却費294百万円等により資金が増加したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、1,490百万円(前年同期は使用した資金48百万円)となりました。有形及び無形固定資産の取得による支出390百万円等があったものの、定期預金の純減額1,800百万円、保険積立金の払戻による収入152百万円等により資金が増加したことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、467百万円(前年同期は使用した資金365百万円)となりました。配当金の支払額404百万円、長期借入金の返済による支出50百万円等により資金が減少したことによるものであります。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、71百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,800,000
計	28,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年9月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,120,000	10,120,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,120,000	10,120,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年5月1日～ 平成25年7月31日	-	10,120,000	-	1,111,000	-	1,310,000

( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年7月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
株式会社ワイエム管財	東京都練馬区向山3丁目6-20	1,810	17.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	838	8.28
兵部 行遠	東京都練馬区	808	7.98
小南 佐年	東京都練馬区	622	6.15
ビービーエイチ フィデリティ ピ ューリタン フィデリティ シリー ズ イントリンシツク オボチユニ テイズ ファンド	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582	569	5.62
(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) ステート ストリート バンク アン ド トラスト カンパニー	(東京都千代田区丸の内2丁目7-1) P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A.	307	3.04
(常任代理人 香港上海銀行東京支店) ザ バンク オブ ニューヨークー ジャスティックトリーティー アカ ウント	(東京都中央区日本橋3丁目11-1) AVENUE DES ARTS 35 KUNSTLAAN, 1040 BRUSSELS, BELGIUM	231	2.28
(常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営 業部)	(東京都中央区月島4丁目16-13)		
ビービーエイチ フォー フィデリ テイ ロー プライズド ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582	216	2.14
(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	(東京都千代田区丸の内2丁目7-1)		
ミライアル従業員持株会	東京都豊島区東池袋1丁目24番1号	202	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	196	1.93
計	-	5,802	57.33

(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,115,600	101,156	-
単元未満株式	普通株式 3,500	-	-
発行済株式総数	10,120,000	-	-
総株主の議決権	-	101,156	-

【自己株式等】

平成25年7月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ミライアル株式会社	東京都豊島区 東池袋1-24-1	900	-	900	0.00
計	-	900	-	900	0.00

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年2月1日から平成25年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,953,344	10,338,336
受取手形及び売掛金	2,406,390	2,235,548
商品及び製品	263,590	361,536
仕掛品	255,214	358,977
原材料及び貯蔵品	131,101	132,858
繰延税金資産	151,383	154,119
その他	102,696	95,143
貸倒引当金	8,094	8,019
流動資産合計	14,255,626	13,668,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,870,558	4,904,058
減価償却累計額及び減損損失累計額	2,796,411	2,869,100
建物及び構築物(純額)	2,074,146	2,034,957
機械装置及び運搬具	5,972,648	5,986,833
減価償却累計額及び減損損失累計額	5,220,492	5,320,803
機械装置及び運搬具(純額)	752,156	666,030
土地	1,448,442	1,448,442
建設仮勘定	-	82,845
その他	4,081,260	4,188,127
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,533,660	3,634,703
その他(純額)	547,599	553,423
有形固定資産合計	4,822,344	4,785,698
無形固定資産		
その他	91,461	80,436
無形固定資産合計	91,461	80,436
投資その他の資産		
投資有価証券	255,314	257,899
保険積立金	891,501	869,291
繰延税金資産	175,996	170,678
その他	54,953	55,179
投資その他の資産合計	1,377,765	1,353,050
固定資産合計	6,291,572	6,219,184
資産合計	20,547,198	19,887,686

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,109,207	985,400
1年内返済予定の長期借入金	91,708	70,877
未払法人税等	430,100	152,703
賞与引当金	236,700	287,010
受注損失引当金	157	2,471
製品保証引当金	9,425	4,127
その他	651,313	556,375
流動負債合計	2,528,612	2,058,965
固定負債		
長期借入金	37,483	8,314
退職給付引当金	424,476	395,668
役員退職慰労未払金	145,062	131,780
繰延税金負債	133,189	134,318
その他	150,851	132,784
固定負債合計	891,063	802,865
負債合計	3,419,675	2,861,830
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,111,000	1,111,000
資本剰余金	1,310,000	1,310,000
利益剰余金	14,722,737	14,619,813
自己株式	4,596	4,596
株主資本合計	17,139,141	17,036,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,617	10,361
その他の包括利益累計額合計	11,617	10,361
純資産合計	17,127,523	17,025,855
負債純資産合計	20,547,198	19,887,686

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
売上高	6,288,846	4,110,536
売上原価	3,896,013	2,908,402
売上総利益	2,392,832	1,202,134
販売費及び一般管理費	1,070,103	834,077
営業利益	1,322,729	368,057
営業外収益		
受取利息	11,168	9,526
受取配当金	167	253
負ののれん償却額	14,046	-
助成金収入	110	4,981
保険返戻金	12,307	58,598
受取賃貸料	4,512	4,023
その他	6,218	3,532
営業外収益合計	48,532	80,914
営業外費用		
支払利息	2,036	941
減価償却費	13,815	-
その他	905	179
営業外費用合計	16,757	1,120
経常利益	1,354,504	447,850
特別利益		
固定資産売却益	1,286	476
受取保険金	-	2,908
その他	-	29
特別利益合計	1,286	3,414
特別損失		
固定資産売却損	165	-
固定資産除却損	10,851	-
投資有価証券評価損	10,740	-
減損損失	72,305	-
特別損失合計	94,062	-
税金等調整前四半期純利益	1,261,727	451,265
法人税、住民税及び事業税	574,900	146,439
法人税等還付税額	245	-
法人税等調整額	182,455	2,988
法人税等合計	392,199	149,428
少数株主損益調整前四半期純利益	869,528	301,837
四半期純利益	869,528	301,837

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	869,528	301,837
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	7,097	1,256
その他の包括利益合計	7,097	1,256
四半期包括利益	876,625	303,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	876,625	303,093
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,261,727	451,265
減価償却費	194,374	294,784
減損損失	72,305	-
負ののれん償却額	14,046	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	17	75
賞与引当金の増減額(は減少)	38,968	50,310
退職給付引当金の増減額(は減少)	15,543	28,807
製品保証引当金の増減額(は減少)	4,994	5,298
受注損失引当金の増減額(は減少)	1,351	2,314
受取利息及び受取配当金	11,336	9,779
支払利息	2,036	941
為替差損益(は益)	38	218
保険返戻金	12,307	58,598
投資有価証券売却損益(は益)	-	29
投資有価証券評価損益(は益)	10,740	-
固定資産除却損	10,851	-
固定資産売却損益(は益)	1,120	476
売上債権の増減額(は増加)	587,448	170,842
たな卸資産の増減額(は増加)	122,170	203,465
その他の流動資産の増減額(は増加)	82,533	6,321
仕入債務の増減額(は減少)	129,901	123,806
未払消費税等の増減額(は減少)	49,610	9,028
その他の流動負債の増減額(は減少)	83,598	72,158
その他の固定負債の増減額(は減少)	4,584	23,702
その他	100	13,282
小計	1,189,906	572,369
利息及び配当金の受取額	14,390	10,987
利息の支払額	2,162	1,066
法人税等の支払額	410,961	420,394
法人税等の還付額	245	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	791,417	161,895

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	400,000	300,000
定期預金の払戻による収入	202,100	2,100,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	239,196	390,083
有形及び無形固定資産の売却による収入	637,541	476
固定資産の除却による支出	10,851	-
子会社株式の取得による支出	221,000	-
投資有価証券の取得による支出	598	607
投資有価証券の売却による収入	-	30
保険積立金の積立による支出	77,341	71,742
保険積立金の払戻による収入	25,587	152,549
その他	35,270	226
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>48,487</b>	<b>1,490,396</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	50,000	50,000
リース債務の返済による支出	11,555	12,757
配当金の支払額	303,571	404,761
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>365,126</b>	<b>467,519</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	218
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	377,841	1,184,992
現金及び現金同等物の期首残高	5,316,386	5,353,344
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,694,228	6,538,336

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年2月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
運送費	221,431千円	151,679千円
給料	184,946	141,040
賞与引当金繰入額	56,201	43,500

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
現金及び預金勘定	11,094,228千円	10,338,336千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	5,400,000	3,800,000
現金及び現金同等物	5,694,228	6,538,336

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月24日 定時株主総会	普通株式	303,571	30	平成24年1月31日	平成24年4月25日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月7日 取締役会	普通株式	303,571	30	平成24年7月31日	平成24年10月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年7月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月25日 定時株主総会	普通株式	404,761	40	平成25年1月31日	平成25年4月26日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年9月9日 取締役会	普通株式	303,571	30	平成25年7月31日	平成25年10月7日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,428,707	860,138	6,288,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	20,425	20,425
計	5,428,707	880,564	6,309,272
セグメント利益	1,637,440	96,248	1,733,689

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,733,689
セグメント間取引消去	3,926
全社費用(注)	407,033
四半期連結損益計算書の営業利益	1,322,729

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	プラスチック成形事業	成形機事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,639,281	471,255	4,110,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	257	257
計	3,639,281	471,513	4,110,794
セグメント利益	668,084	16,758	684,843

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	684,843
セグメント間取引消去	13,504
全社費用(注)	330,291
四半期連結損益計算書の営業利益	368,057

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表価額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表価額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、デリバティブ取引には、ヘッジ会計を適用しているため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	85円92銭	29円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	869,528	301,837
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	869,528	301,837
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,119	10,119

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

1．平成25年9月9日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....303,571千円

(ロ) 1株当たりの金額.....30円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年10月7日

(注) 平成25年7月31日現在の株主名簿に記載された株主に対し、支払いを行います。

### 2．重要な自己株式の取得

平成25年9月9日(月)開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

#### (1) 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を実現するため、自己株式の取得をするものであります。

取得に係る事項の内容

．取得する株式の種類	当社普通株式
．取得する株式の総数	1,000,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合9.88%)
．株式の取得価額の総額	1,700百万円(上限)
．取得期間	平成25年9月10日～平成26年1月31日
．取得の方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による取得等を予定

#### (2) 自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による株式取得

上記の取得の方法に基づき、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、平成25年9月10日に当社普通株式980,800株(取得価額1,510百万円)を取得いたしました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年9月5日

ミライアル株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 猪瀬 忠彦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡田 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているミライアル株式会社の平成25年2月1日から平成26年1月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年5月1日から平成25年7月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年2月1日から平成25年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ミライアル株式会社及び連結子会社の平成25年7月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。